令和８年度 皮革産業技術者研修
「革製品の基礎知識」募集案内

東京都立皮革技術センター

皮革関連産業で働く技術者等の方を対象に、「革製品の基礎知識」と題し、研修会を開催します。
本研修は、革製品を扱う上で必要な基礎知識を広く習得していただけるよう、多様なカリキュラム構成としています。皆様のご参加をお待ちしています。

1 開 催 日 ： 令和 9 年 1 月 14 日（木）～令和 9 年 1 月 25 日（月）のうちの 5 日間
2 会　　場 ： 東京都立皮革技術センター　3F 講習室
3 定　　員 ： 各講義　25 名程度
4 受 講 料 ： 無料
5 申込方法 ： 電子申請にて受け付けております。右記の二次元コードを読み取るか、
下記 URL よりアクセスし、必要事項をご入力のうえお申し込みください。
申請フォーム　https://logoform.jp/f/dyvA6
1講義単位でお申込み可能です。
※電子申請が困難な場合は、問合せ先までご連絡ください。

申請フォーム

6 申込締切 ： 令和 8 年 12 月 17 日（木） 17:00
7 受講可否 ： 締切後、令和 8 年 12 月 24 日(木)までに、電子メールにより受講の可否をご連絡します。

8 問合せ先 ： 東京都立皮革技術センター　〒131-0042　東京都墨田区東墨田 3-3-14
TEL：03-3616-1671　　E-mail：kennsyuu.hikaku@hikaku.metro.tokyo.jp
本研修のご案内：　https://www.hikaku.metro.tokyo.lg.jp/honsho/news/　（担当：青木・富永）

9 内 容

日	時	講　　義	講　　師	
1/14（木）	13:30～16:45	1. 天然皮革の基礎知識 ～体感して学ぶ革の特性～	NPO 法人 日本皮革技術協会 副理事長	稲 次　俊 敬　氏
1/18（月）	13:30～15:00	2. 人工皮革・合成皮革	京都女子大学 家政学部生活造形学科　教授	榎 本　雅 穂　氏
	15:15～16:45	3. エキゾチックレザー・爬虫類皮革の基礎知識	全日本爬虫類皮革産業協同組合	加藤　正　氏 佐 藤　洋 平　氏
1/20（水）	13:30～15:00	4. 革製品の品質表示	都立皮革技術センター 専門技術指導員	今井　哲夫
	15:15～16:45	5. 産地の価値を“鞣し”、地域ブランドを“仕立てる”――SOKA LEATHER の作り方	そうか革職人会　会長 SOKA LEATHER　広報	伊 藤　達 雄　氏 河 合　泉　氏
1/22（金）	13:30～15:00	6. 紳士靴の基礎知識 ～靴の歴史・製法から検査のポイントまで～	株式会社 リーガルコーポレーション 商品開発本部 副本部長	石 原　邦 生　氏
	15:15～16:45	7. 天然皮革がサステナブル素材である理由と 2026 年の現状	株式会社 川善商店　代表取締役 （一般社団法人日本皮革産業連合会 TLA 座長）	川北　芳弘　氏
1/25（月）	13:30～15:00	8. ニホンジカ皮の文化的・社会的価値の創出と皮革の再評価	鹿皮紙プロジェクト(shujiworks) 代表	カワダシュウジ氏
	15:15～16:45	9.百貨店の品質管理と事例から読み解く簡易試験法	株式会社 消費科学研究所 繊維雑貨事業部　シニアエキスパート	村井　大輔　氏

※カリキュラムの変更等がある場合は、随時ホームページ上でお知らせいたします。

講義内容

1.「天然皮革の基礎知識　～体感して学ぶ革の特性～」

NPO法人日本皮革技術協会　副理事長　　稲次　俊敬　氏

革製品を製造、あるいは販売する上で、クレームを防ぐためには、革の特性や弱点について理解しておく必要があります。知っておくべき天然皮革の様々な特性（革の繊維構造、染色堅ろう度、水分、熱、物理強度、耐薬品性、剥離等）について、事故事例の紹介とともに簡易的な実習を通して解説します。

2.「人工皮革・合成皮革」

京都女子大学　家政学部　生活造形学科　教授　　榎本　雅穂　氏

人工皮革・合成皮革は、天然皮革とは異なる素材ですが、衣料・靴などファッション素材や、家具・車両などインテリア素材として広く用いられています。本講座では、「人工皮革・合成皮革とは？」からはじまり、人工皮革と合成皮革などの構造上の違いと環境対応型・サステナブル合成皮革、それらに使われるポリウレタン樹脂の特性と取り扱い上の注意、そしてポリウレタン樹脂の劣化と耐久性評価方法などについて説明します。

3.「エキゾチックレザー・爬虫類皮革の基礎知識」

全日本爬虫類皮革産業協同組合　　加藤　正　氏
佐藤　洋平　氏

エキゾチックレザーとは、牛、馬、羊、豚　以外の動物の革を指します。主な革として、クロコダイル（ワニ革）、パイソン（ヘビ革）、オーストリッチ（ダチョウ革）などがあります。ワシントン条約などの言葉もあり、扱うのに難しそうなイメージやSNSなどの普及により誤った情報がでておりますので、正しい知識をお伝えするとともに、実際に革を触っていただき、特徴や魅力についてご紹介します。

4.「革製品の品質表示」

都立皮革技術センター　専門技術指導員　　今井　哲夫

品質表示は、消費者が製品を選択し、安心して使用するための欠かせない情報です。本講義では、革製品について、景品表示法及び家庭用品品質表示法に基づく表示ルールや、各業界団体による自主基準、ガイドライン等について、事例を交えて解説します。
また、革の定義について、日本産業規格（JIS）より制定された「JIS K 6541:2024 革（レザー）―用語」を紹介しながら解説します。

5.「産地の価値を“鞣し”、地域ブランドを“仕立てる”――SOKA LEATHER の作り方」

そうか革職人会　会長　　伊藤　達雄　氏
SOKA LEATHER　広報　　河合　泉　　氏

草加レザーは、約100年続く皮革産地です。
その価値を再編集し、地域ブランドとして立ち上げた経緯を実務の視点で解説します。

6.「紳士靴の基礎知識　～靴の歴史・製法から検査のポイントまで～」

株式会社リーガルコーポレーション　商品戦略本部　副本部長　　石原　邦生　氏

良い靴は、素材と構造が大切です。本講義では、グッドイヤー・ウェルト製法等を始めとした紳士靴の製造工程の基本から、歴史で辿る製法の進化、世界の靴メーカー等の紹介、木型、靴の手入れ方法、検査のポイントま で、紳士靴の魅力について幅広く解説します。

7.「天然皮革がサステナブル素材である理由と2026年の現状」

株式会社川善商店　代表取締役　（一般社団法人日本皮革産業連合会　TLA座長）　川北　芳弘　氏

昨今、天然皮革についての否定的で誤った情報が散見されるようになったことを受け、（一社）日本皮革産業連合会は、皮革・革製品がエコでサステナブルであることを発信していく『Thinking Leather Action（TLA）』事業を立ち上げました。みなさんに正しい知識を身につけていただけるよう、「なぜ、天然皮革がサステナブルな素材なのか」についてと「2026年の現状」について詳しく解説します。

8.「ニホンジカ皮の文化的・社会的価値の創出と皮革の再評価」

鹿皮紙プロジェクト（shujiworks）　代表　カワダシュウジ　氏

ニホンジカ皮を活用して開発した「鹿皮紙」を事例に、皮革の新たな可能性についてご紹介します。皮革素材をファッション分野にとどまらず、アート、音楽、インテリア、文化財修復などさまざまな領域へ展開することで、新たな用途や価値の創出に取り組んでいます。本講義では、未利用地域資源の高付加価値化を通じて生まれた鹿皮紙の開発経緯と活用事例を交えながら、皮革が持つ可能性を再考し、文化的・社会的価値を備えた新たな市場や展望についてお話しします。

9.「百貨店の品質管理と事例から読み解く簡易試験法」

株式会社消費科学研究所 品質管理事業統括部
繊維雑貨事業部　繊維雑貨グループ　シニアエキスパート　村井　大輔　氏

幅広い商品を取り扱う百貨店における品質管理の取り組みや皮革製品に関する商品苦情の傾向、事例などについて解説します。また、手軽な顕微鏡や身近な道具を活用した「クレーム品の初期見極め」を解説します。専門設備がなくてもできる簡易観察で、品質問題に対処できる基本テクニックや小道具を紹介します。（専門機関に相談する前段階でのチェックを想定しています。）